



廿日市市立佐伯中学校 令和6年度

【自律】学校だより

ホームページ [http:// www.hatsukaichi-edu.jp/saiki-j/](http://www.hatsukaichi-edu.jp/saiki-j/)

学校教育目標:「夢や目標に挑戦し、自己実現を図る生徒の育成」

10月号 (No.17)

令和6年

10月30日 (水)

中体連壮行式 アーチェリー表彰

10月11日(金)に、中体連壮行式を行いました。各部の部長(代表)が普段の練習の様子やこれまで取り組んできたこと、大会への意気込みを発表し、それを聞いた生徒は全員で応援の気持ちを込めて拍手を送りました。新チームになり、1年生と2年生の選手にとっては、初めての公式試合で緊張したと思いますが、自分達のベストを尽くすことができたでしょうか。

同時にアーチェリーの表彰も行いました。1年生の古川詩音さん、3年生の大河駿仁さんの活躍を生徒全員で祝福しました。大河さんは、佐賀県で行われた国民スポーツ大会で広島県代表として佐伯高校の生徒(本校卒業生)と共に出場し、8位入賞という快挙を達成しました。今後もさらなる活躍を期待しています。1年生の古川さんも次世代の選手として期待されています。先輩に続いて頑張ってください。

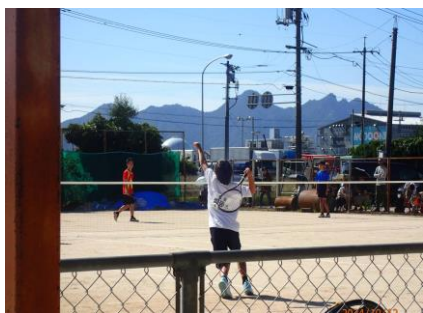


中体連秋季大会の様子

10月12日(土)と13日(日)に、大会が行われました。私は、陸上部の部会長として陸上部の活躍を間近で見ました。男子は、16人が出場した走幅跳で佐伯中3人が決勝に残りました。結果は大藤彦希さんが5位、西川明良さんが6位、高木龍之介さんが7位でした。また、砲丸投げでは山本朝陽さんが、16人中6位に入賞しました。さらに男子4×100mリレー(廣野、西川、山本、高木)では4位に入賞しました。また、女子は沖島優花さんが100mで2位、200mで4位。走幅跳では、13人が出場し1年生2人が決勝に残り、岩見美空さんが4位、平下皐月さんが8位でした。また100mでは23人が出場し、岩見さんが7位に入りました。佐伯中女子は総合6位でした。入賞できなかった選手もいましたが、どの選手もよく頑張っていました。



その他の会場でも、佐伯中の生徒が頑張ったと聞いています。この冬にしっかり鍛えて、春の大会では、ひと回り成長した姿を見せてください。



ソフトテニス部



卓球部



バレーボール部

自己表現発表会（3年生）

10月16日（水）に地域の皆様20名にお越しいたごき、自己表現発表会を行いました。地域の皆様には、お忙しいところを毎年ご協力いただき、感謝申し上げます。

振り返ると、5月30日のキャリア講演会で、広テレの馬場アナウンサーが佐伯中に来てくださり、講演の中で自己表現のお手本を示してくださいました。お隣の国である韓国に興味をもったことを題材に、ご自身の体験を、わかりやすい内容で話し、理由も明確で、聞き手を意識した表現でした。プロのアナウンサーですので、聞き取りやすいのは当然ですが、お手本を示してくださったのは、3年生の皆さんにとって参考になったのではないのでしょうか。

この発表会では、生徒が事前に準備した内容をもとに、ある生徒はスケッチブックに描いたイラストを使い、ある生徒は身振り手振り、自分自身が体験したことについて表現しました。うまく説明できなかつたり、伝えられなかつたりしたかもしれませんが、自分の改善点に気付くことができた、と前向きにとらえてほしいと願っています。

この発表会は、これまで2回実施した校長面談の時にも担任の先生方から説明されたと思いますが、「他者に向けて自分のことを話す貴重な機会」です。入試対策だと考えている生徒もいるかもしれませんが、そうではありません。今回は、自身にとって厳しい評価もあったかもしれませんが、将来皆さんが人前でプレゼンテーションを行うとき、きっと役に立つスキルにつながったのではないのでしょうか。

